

医療のデジタル化・ネットワーク化を支援、 診断サービスの向上へ

日本におけるレントゲンフィルムのパイオニアとして、
医療診断用画像技術をコアに、医療現場のニーズに応える製品・サービスを提供してきたコニカミノルタ。
近年では、医療のデジタル化・ネットワーク化に寄与する機器やシステム、ITサービスを
トータルに提供することで、より迅速、確実な診断サービスの実現に貢献しています。

Products

確かな診断結果をもたらすデジタル画像診断システム

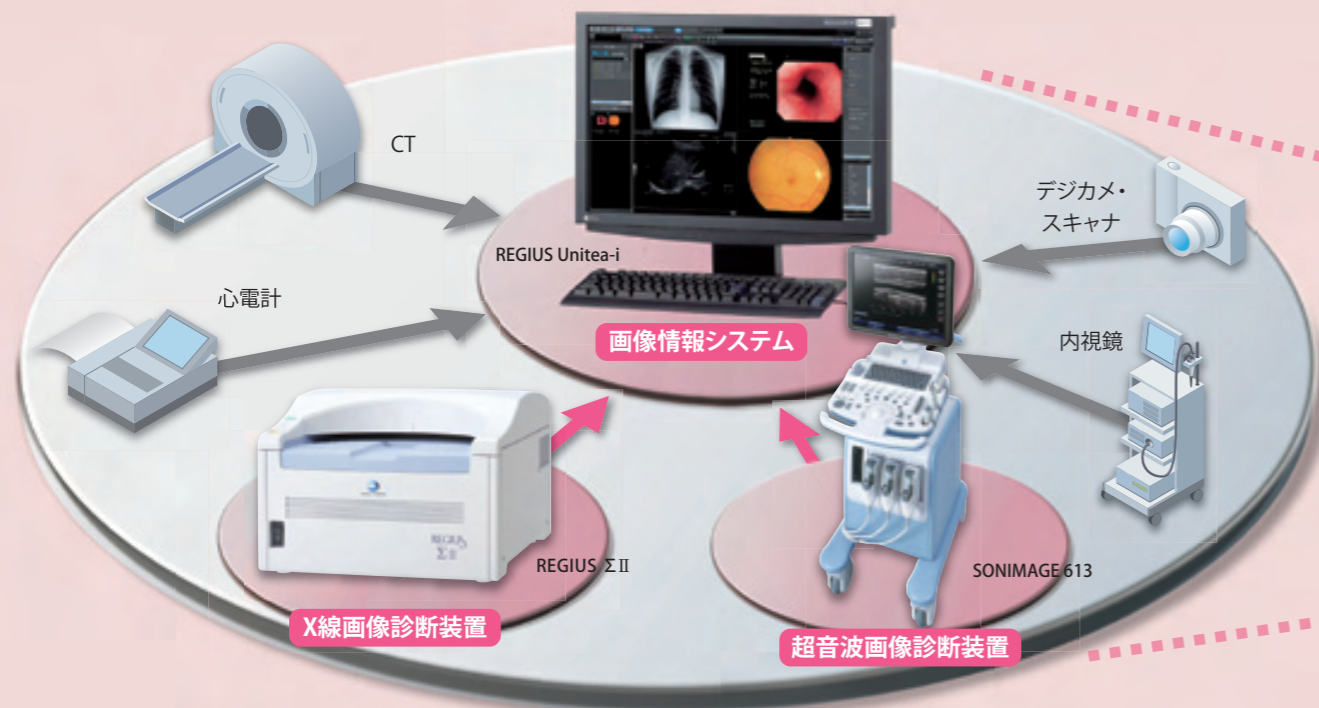
コニカミノルタは、X線画像診断システムを中心に、マンモグラフィー、超音波画像診断装置など、先進的な診断システムを通じて、画像診断のデジタル化を牽引。高精細かつ高精度な診断画像を効率的に提供することで、医療診断の精度向上やスピードアップ、受診者の負担軽減に貢献しています。

主要製品

- デジタルX線画像診断システム (CR, DR)
- デジタルマンモグラフィー
- 超音波画像診断装置
- 診断用医薬品



Digital Imaging System

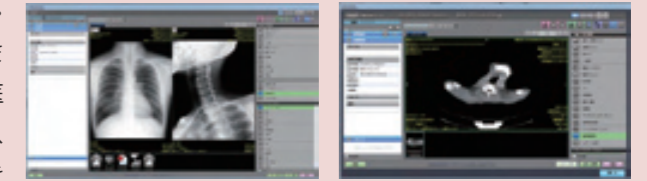


Products

Digital Imaging System

デジタル医療用画像データの管理・活用を効率化し、診断業務をサポートする医療画像情報システム

医療用画像のデジタル化は、データ保存・管理の効率向上に加え、拡大・縮小や階調処理などによる診断精度の向上など、医療診断の現場にさまざまな革新をもたらします。こうした診断画像の保存・加工を担うのが、医療画像情報システムです。コニカミノルタは、X線画像はもちろん、CTスキャンや内視鏡など他社製品での撮影画像も含めてトータルに管理できるシステムを提供。医療用画像の効率的で効果的な活用を実現します。



主なシステム

- 医療用画像ファイリングシステム「I-PACS, I-PACS EX」
- 医療用画像オールインワンシステム「REGIUS Unitea-i」
- 医療画像診断ワークステーション
- 医療用経営支援サービス「infomity」

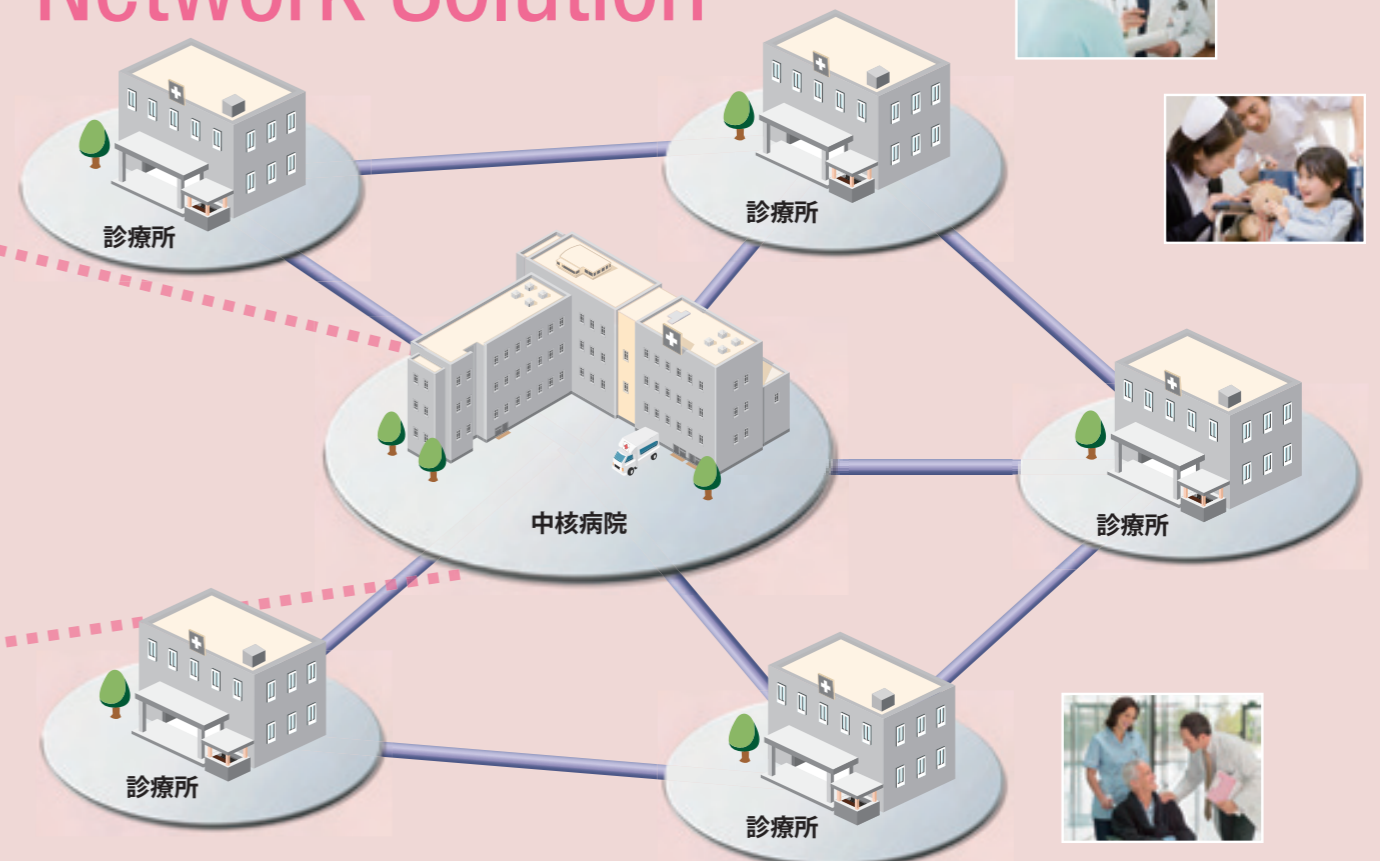
Network Solution

医療情報のクラウド化を視野に入れたネットワークサービス「infomity」

医療現場におけるデジタル化の進展とともに、ネットワークを活用した医療ITサービスへの期待が高まっています。コニカミノルタは、こうしたニーズを先取りし、診断機器の遠隔サポートや、病院間での情報共有サポート、医療行政ニュースの配信など、医療機関のネットワーク化を支援するトータルサービス「infomity (インフォミティ)」を提供。医療業務のさらなる効率化、高度化に貢献しています。



Network Solution



医療ニーズの高度化とともに進化する コニカミノルタの画像診断技術

Products

高精度かつフレキシブルな最先端のデジタルX線撮影装置「AeroDR」

DR(デジタルラジオグラフィー)は、フィルム撮影に比べてX線被曝量を低減できるだけでなく、より高精度な画像を撮影後すぐに表示できます。しかし、従来のDRは重量が重く、電源とデータ送信用ケーブルが必要など、作業性が課題でした。

コニカミノルタが開発した「AeroDR(エアロディーアール)」は、徹底した軽量化とデータ送信のワイヤレス化により、これまでのDRの課題であった撮影時の作業性を改善。DRの普及に貢献します。



Products

消費電力を10分の1に抑えた新世代のCR「REGIUS Σ II」

医療のIT化が加速するなか、街のクリニックでもX線撮影をデジタル化したいという要望が高まっています。コニカミノルタではこれに応え、コンパクトで軽量のクリニック向け卓上型CR装置「REGIUS(レジウス)ΣII」を開発しました。

スタンバイ時の動作音は0dBで、診察室に置いても診察行為の妨げになりません。また、消費電力はわずか100VAとアナログ自動現像機に比べ約1/10以下に抑えられており、節電と地球温暖化防止に役立つ環境に配慮した製品です。



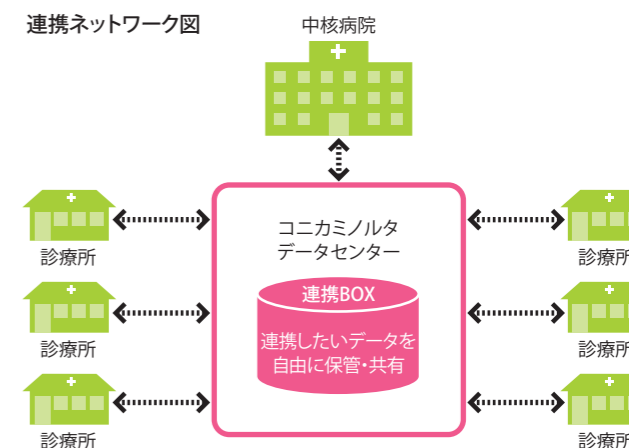
Network Service

医療情報を共有できる「連携BOXサービス」で病院間での連携をサポート

コニカミノルタは、医療機関向けネットワークサービス「infomity」の一環として、複数の医療機関で撮影画像や検体データ、レポート内容などの診察情報を共有できる「連携BOXサービス」を提供しています。

これにより、専門医を擁する大規模病院と地域の診療所との医療連携が実現できるほか、専門分野の異なる複数の医師が同じ画像を見ながらの意見交換も可能になります。地域連携の一例としては、青森県で地域の中核病院を中心に9医療機関で導入いただいており、専門医が遠隔からタイムリーな判断を下すことで、緊急を要する脳疾患などの救急医療に役立てられています。

連携ネットワーク図



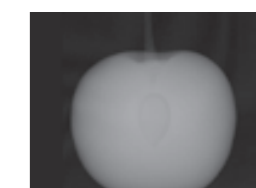
New Technology

産学連携による研究で革新的な「高感度X線撮影装置」の開発を推進

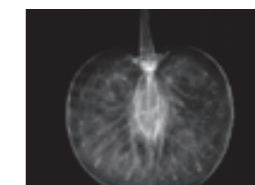
コニカミノルタは、大学や公的研究機関などとの連携による研究開発を積極的に推進しています。例えば近年では、東京大学や兵庫県立大学などとの連携プロジェクトとして、X線の屈折を利用した革新的なX線撮影装置の開発に取り組んでいます。この装置は、「タルボ・ロー干渉計」という原理を利用して、従来と比べて約1,000倍も高感度なX線撮影を実現するもの。これにより、これまで難しかったごく初期の乳がんや、リウマチによる軟骨の異常などを検出することが期待されます。



被写体



吸収画像



小角散乱画像



微分位相差画像

写真はさくらんぼの撮影サンプル。一回の撮影で、従来のX線写真に類似した画像(右上)を含む、3種類のデータを得られる。

デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM 業事認証番号 222AIBZX00035000
Regius PureView タイプM 業事認証番号 220ADBZX00026000
画像診断ワークステーション REGIUS Unitea 業事承認番号 21900BZX00854000

ダイレクトディジタイザー REGIUS SIGMA2 業事認証番号 224AIBZX00015000
カラー超音波診断装置 SONIMAGE 613 業事認証番号 223AABZX00009000
画像診断ワークステーション NEOVISTA I-PACS EX 業事承認番号 21800BZX10168000